

行文線整備事業 旭橋補強工事通行止めに伴う工事説明会 ～夜の部～
議事録

日 時 令和5年12月22日（金）午後7時から
場 所 地域福祉センター2階大会議室
出席者 小笠原副村長
小笠原村総務課長
小笠原支庁土木課長
小笠原支庁土木課道路河川担当
大昭産業株式会社（受注者）
参加者 6名

説明

○「行文線整備事業 旭橋補強工事通行止めに伴う工事説明会 ～昼の部～」と同様のため、省略

質疑応答

- 司 会 質問される方は質問の要件を簡潔にお願いします。いくつかの質問がある場合は、まとめてお願いいたします。
- 参加者C 質問が2つあります。1つ目は1日完全通行止めを行う日にちを教えてください。船の入港日は物資配達のため通行する可能性があります。どの辺を狙って通行止めを考えているか教えてください。入港中でしょうか。出港中でしょうか。
- 支 庁 出港中を考えています。まだ確定していませんが、日にちが決まったら、事前に村内の防災無線で流しますし、整備工場さんや、観光協会さんとか、この道路をよく通行する可能性のある方々には、別途周知をさせていただこうと思っています。
- 支 庁 どのぐらい前に分かりますか？
- 受注者 3週間前には事前に連絡できると思います。
- 参加者C 早ければ早いほど予定が立つと思います。
2つ目ですが、仮設の橋を6トンまでとありますが、これは橋の強度ということでしょうか。

- 支 庁 おっしゃるとおりです。
- 参加者C 長さは短いけど、6t 以上ある車は強度的に無理なので通れないということですか。
- 支 庁 おっしゃるとおりです。総重量 6t または車両の長さが 6m でどちらかが超えていると通れないということになります。
- 参加者C ありがとうございました。
- 司 会 他にありますか。
- 参加者D 前回の説明からの続きですけど、努力してもらって完全通行止めは 1 日になっていますが、消防車は通れますか。
- 支 庁 消防車の大きい方は通れませんが、小さい方は通れます。
- 参加者D 旭橋の先に整備工場と避難所である奥村交流センター以外に何かありますか。
- 支 庁 JAXA さんですとか、VERA さんとかありますね。
- 参加者D あそこらへんにもし、火災があったら、小さい消防車は入れるということですね。う回していると燃え尽きてしまいます。
順番に行きますけれど、これは行文線の仮設の橋ってことですけど、ずっと仮設なのでしょうか。
- 支 庁 ずっと仮設です。
- 参加者D ずっと使うのだったら橋の補強工事ではないですか。仮設というといつか取れるような気がするけど、それはないのですね。ずっと置いたままですね。
- 支 庁 この行文線の整備工事が終わるまでは使いますが、終わったら撤去します。
- 参加者D わかりました。では、その工事全部終わるのはいつですか。
- 支 庁 10 年を想定しています。
- 参加者D 10 年は仮設のままでそれが終わったら上に乗せてあるものは撤去して前に戻すということですね。今回の仮設工事は小手始めですよ。それから大規模な工事が始まると思うのだけど、前も言った通り、作業員がかなり必要になります。本橋とトンネル掘るのがすごい大変。鋼鉄製の橋も非常に大工事です。島の力じゃ無理なので、内地から相当な人数連れてくることになりますよね。今後の大規模工事では、飯場を作ってください。作業員がちゃんと泊まれてご飯食べて日常的なことができる飯場を。今、母島で問題になっているのがメガソーラーシステム工事で、始まってからみんな慌てだして。今、事業者が飯場を作っていると伺いました。
- 支 庁 そうです。
- 参加者D 島民から苦情が出ていると聞いています。問題は父島から母島に行くときに宿が取れない。作業員が母島の宿に泊まっているから。だから観光客が行けない、島民が行けない。母島の観光業者とか、バイトの人たちがかなり仕事に溢れている

て、文句タラタラだっていう話を聞いています。父島もさらにそれより大規模な工事で10年掛かるんです。

かなりの長期間、観光客が減少する。昔はおがさわら丸のチケットが買えなくて宿が空いているという時代だったけれど、今は、宿の老朽化とか廃業とかいろんなことと、かなりの公共工事が動いていて、宿に作業員が入っていますね。昔は各事業で飯場があったが、それもなくなっている。そしたら今度は、おが丸のチケットを買っても宿が取れない。観光客から文句が出ていると聞いているし、あと作業員さんはガイドも使わないし、ツアーも行かないし、もちろん大量のお土産も買っていただけません。父島でお土産も作っていたお菓子屋さんも1軒撤退しますが、この頃景気が悪い。どんどん島民の生活を圧迫しているんです。今回の工事では、数人だとおっしゃったけど飯場をつくる計画はあるのですか？

- 支 庁 東京都として飯場をつくる計画はありません。
- 参加者D 大昭産業さんはどうですか。工事しますでしょ。大昭産業さんのところで全員泊まれるの？
- 受注者 そうですね。
- 参加者D でも聞いたら今他の工事もいっぱい入っているでしょ？小学校中学校の建替工事とかいろんなことで内地から作業員が来るがコロナがあったから、1部屋に1人ずつ泊まっている。普通この島ではコストの観点で観光客も1部屋にぎりぎり詰めちゃうの。1部屋に1人なんて贅沢なこと許してないはずです。建設業者からはお金がいくらかかってもいいから1人1部屋にしてくれって言われたと聞いています。そうしたら観光客はもちろん泊まれませんか、この島に。キャパシティーが減っている。せっかくコロナが明けて儲け時期なのにお客さんが来たくても来れない。

来ないから、いろんな売り上げが減っている。それがまず問題。だからそれをなんとかしてくれないと。この島の基本産業は、今は土木業じゃありません。観光業です。返還から50年以上経って、島の民間施設も老朽化しているんです。父島のスーパーもボロボロじゃないですか。多分支庁もそうでしょ。建て替えなきゃいけない時期に来ている。でも、島内の建設業者が公共工事を多数受注しているから工事注文しても断られる。現に小笠原村の村長さんのお家も5年ぐらい建っていませんよ。でしょう。土台作った時点で止まったままです。

村長の家すら建たない。私もね、やっとなんか建築確認を取ったのに工事ができないの。それが本当に島民の基本インフラを圧迫している。お店とかもう建て替えなきゃいけない時期。宿の建て替えなきゃいけない時期なの。どうすればいいのかよくわからない。人もどんどん減っている。要するにアパートとかも島内の建設業者が島外から来るか来ないか分からないが空き家を押さえている。そし

たらその他の事業者は従業員雇えないのよ。だって泊まれる宿もないのに従業員の募集をかけるわけにいかないし。

もう公共の建物、道路もどんどん返還から劣化して都道を補修しなきゃいけないところが山積みになっている。境浦橋でさえ補修しなきゃいけない。20年前に作ったうちの近くの北袋沢の都道もボロボロで崩れかけている。毎回見に来る人にここ崩れていて危ない、ここ鉄筋が出てるよボロボロですよって。返答は、ああ、大変ですねって。もっと大変なところは絶対あるはずで20年しか経ってないのにボロボロなのだから、30年、40年、50年前作ったものとか。もっとボロボロなはず。

それを本当補修していかなきゃいけないのに、また補修しなきゃいけない工事を開始しようとしている。20年後、30年後どうするわけ？人口は減ってくる産業は衰退している。なのに補修しなきゃいけないところはいっぱい増えている。考え直してほしい。今だってねえ。内地の大阪万博、リニア。もう大変なことになっていますよ。いつできるの。いくらかかるのって、揉めている。傷口が浅いうちに私はやめたほうが良いと思う。他にやらなければならないことがいっぱいある。そこら辺を考えて、総合的に。

総合的に見ている人が誰もいないのだから、10年後、20年後、これぐらいの量のメンテナンスの人手と費用がかかってくるっていうの、誰か計算したことある？今新しいトンネルとか長谷のトンネルもできているし、新しい道どんどん整備して素敵なことだよ。でも、そういう設備はいずれ劣化して大改修の必要が出てくるの。でもそれを先延ばし、将来20年後の話と30年後の話だって言ってきて今日本全国でいろんな水道管やらガス管やら橋、もうボロボロじゃん。立ち止まって考えて。もちろん津波が来たら怖いけどね。でも私たちの生活、その前に壊れちゃったらどうしようもないのよ。本当に考え直してほしい。以上。

○支 庁 そうですね。土木課長の藤木です。よろしくお願いします。今回の工事は大昭産業が準備工事を受注いただいています。今後の本体工事についてはまだ受注者が決まっています。今後、落札してもらった業者さんとその飯場なのか、補助なのか、そういったメニューもですね。行政としてしっかり考えていきたいと思っています。また、父島の方で今、宿泊施設がデータ上ですけども、1000弱ぐらいあります。まだ我々稼働率ですとか、そのピーク時期ずっと埋まっているとかですね、そういうところまで分析ができていませんので、そういった実際の宿泊業をやられている方に…

○参加者D 1,000 というのはいつの話？

○支 庁 令和3年時点で1,066人っていうデータがありまして。それは支庁の管内概要に載せています。

○参加者 私農業者だけ父島母島の農地が数十haあることになっている。でもそれは

統計上であって、そんな畑見たことない。登記されているところがそれだけあるっていう話で、実際にやってないと思う。宿泊施設もそうだと思う。一応載っているけど、稼働してないところがここしばらくすごく増えたね。経営者が年取っていて、もうお客さんの面倒見られないから素泊まりだけとか、名前は載せているけど、ほとんど断っている。よっぽどの人だと親しい人だと泊めてあげるけど、一般の観光客とか泊めないっていうところすごく増えている。

○支 庁　そうですね。私が今お伝えしたのはデータ上ですので、我々が調査をした細かなデータでお話はしていません。箱としてはあるのですが、やっぱりコロナもあって、経営の撤退をされている方もいますので、実際に何件ぐらいあるかっていうのは、そこをしっかりと調べていく必要があるかなと思います。

公共施設の老朽化につきましては、基本的には5年に1回、法令点検で一般的には点検をやって、順次悪いところを見つけながら、補修しています。ただ、優先順位というところもありますし、各事業の予算の上限というところもありますので、そういったところは、土木課長がしっかりと調整し、判断できる場所ですので、全体通して次年度以降どうしていくかは道路河川担当と話していきたいと思います。

総合的にという点では、支庁土木課が島内で一番発注工事が多いと思いますが、行政間は少し縦割りなところもありましたので、そういうところを少し、行政間でも、同じようなスケジュールを見ながら、どこにどういう案件があるですか、しっかりと話していこうというのは考えております。一応、村さんにも趣旨としては、賛同いただいておりますので、今後少しずつですけども、変わっていければなと思っています。

住宅につきましては、都営住宅の建て替えもですね、今、清瀬の方で造成工事に着手しております、母島の方でも建替事業がスタートしております。清瀬の方は第一期が令和8年度頃に完成ということで、少し先になっています。ただ、住宅に関しましては、今住宅政策本部の方で、そもそも移転できない方向けに空き家を確保しているんですけども、その上限を確保できたら、公募再開を検討していくというところもありますので、我々としても住宅も当然大事ですし、津波被害を考えると、道路の整備も必要だということで、総合的に判断して事業を進めていきたいと思っています。その点は少しご理解いただきたいなと思っています。

○参加者D　村民のお家を建て替えるとかもあるのだけれど、今本当に、支庁の建物もボロボロになっている。あと、みんな気がついてないと思うけど、郵便局の建物がやばい。かなり老朽化していて建て替えの必要がある。だけど、今立て替えたいと思っても本当に業者がどこも対応してくれない。

あと、この島は都市計画区域が全部掛かっています。あれを見直してもらえな

いだろうか。返還直後に村民の同意も無しに掛けられている。すごく突き詰めていくと違法性の高い決定だった。本庁に聞きに行ったけれど、あの時確か村政も確立してなかったはず。議員もいなかったし、村長もいなかったような気がします。で誰が出たの？って聞いたら、日野市の市長が出て、代わりに傍聴しましたって。小笠原とどう関係あるの？ってすごい思った窓口で。当時、小笠原の会議には小笠原村民一人も来てなかった。名簿も乗ってない、代わりに日野市の市長がいたよ。日野市長関係ないですよ。そうやって決めた都市計画区域の設定がそもそも間違っている。古くからこの島に戦前からいる人たちが山の中とか、特に農家の人は家を再建できなかつた。だからほとんど島に帰って来なかつたし、農家の人たちも全員都営住宅に入ったって言ったけれど、あれ、都営住宅じゃないのね。本当は、小笠原復興住宅よね。だから建て替えじゃないんです。小笠原の都住を新しく建てるだけで、復興住宅をやめて途中で切り替わるだけでしょう。本当はそうでしょう？

○支 庁 都住については、これまで帰島促進っていう目的がありまして、平成26年度に定住促進が追加されましたけども、帰島促進は消えていませんので、この思想については変わっていません。

○参加者D じゃあ帰島促進って言うのだったら、都市計画区域をさあ、ちょっと考え直して戦前、島の母屋がいっぱい壊れちゃって、返還された時に建て直さなきゃいけなかつたけれど、それが建て直さなかつたのは都市計画区域全部入れちゃったから。昔あったところに家建てちゃいけませんってはっきり言われて、みんな泣く泣く都住に入った。

○支 庁 都市計画区域は、島全部に掛かっているのはその通りなんですけども、実際、土地利用というまた別の区域の中で、利用についての話がありまして。村役場の方で村長を筆頭に、農業地域と集落地域のバランスを、少し見直せないかというところで動きがあります。宅地としての事業開発ができないかというところは、次の特措法の延長や五カ年の振興開発計画の改定に合わせて、国や東京都の方に働きかけていただいています。特措法の改正及び振興開発計画の改定は令和6年予定になっていますので、そういうところでしっかり土地利用として位置付けられれば、村役場の方も、その計画に基づいて事業を進めるっていうところがベースにありますので、若干緩和されるのかなと思っています。

○参加者D 緩和されるかなと思っているのではなくて、緩和してほしい。そうすれば戦前の旧島民が本当に島に帰って来れるチャンス。その子孫がね。今その子孫が帰って来たくても、自分が持っていたところに家建てちゃダメってずっと言われて。建築確認はもちろん下りないし、私なんか申請して6年かけて、建築確認が通ったら、今度はウッドショックで業者が見つからないし、大工も見つからないし、本当は都営住宅から出て、畑に移りたい。そしたら都住が1軒空くわけですよ。

そうやって本当に復興っていうのは、都住から出て、独立して自立した生活をするっていうのが本当だったはずなのに出不来ない。50年経っても。おかしい絶対。だからその視点が欠けていたから、都住にずっと居続けなきゃいけない。人口が増加して子供たちが増えても、みんな内地に行かざるを得ないし、島に住めないし、本当に身に沁みて感じてほしい。家っていうのはやっぱりね、農業やっていたら畑の近くに欲しいの。通うのは本当に大変なの。首伸ばせば畑の様子分かるっていうところに内地ではみんな住んでいるわけじゃん。それが小笠原にずっと許されなかったの。その人たちがどんどん畑に出て行くとか、畑の隅に家建てられるんだったら、じゃあついでに何人かも住めるようなアパート形式にしたら、どんどん人が入れ替わって入っていける。それができないっていうのは、都市計画区域の中に全部入っていて、どんなに頼んでも建築確認の許可が下りない。ここに祖先の家があったって言うても、いや、今、こういう規制が掛かっていますから、その一点張り。考え直して本当に真剣に。それをせめてかつて家があったところに家が建てられるようだったら、じゃあここだけ緩めましょう。とか特例で扱いましょうとかいうのをちゃんとしてくれれば、いろんな問題がちょっとずつ片付いていくはず。早く取り掛からないとみんなまた死んじゃうし、年取っちゃうし。頼む。本当に。私が死ぬまでになんとか頑張っって畑に引っ越ししたい。そうしたら少なくともうちの都営住宅の部屋は空くよ。

○支 庁 都市計画は、いろいろ規制がかかったり、あとは土砂関係でも規制がかかったりします。我々も都市整備局の建築指導課とは日々連絡を取っていますので、個別の案件については別途お話をさせていただいて、どういったことができるかというのは、土木課長として考えていきたいと思ひます。

○参加者D もし、全然進まないようだったら、都市計画区域を全部掛けた経過をみんなに公表して欲しい。村民に説明会を1回も開いてない、審議の時も村民誰もいなかったのに決めたというのを公表したら問題になるよ。それしちやいけないことなの本当は。ちゃんと説明会開けて都市計画法に書いてあるはず。十分な住民の周知をして、計画区域を決めなきゃいけないって書いてあるのに、周知している欠片がどんなに調べても見つからなかった。本庁まで行ってかなり聞いたけれど、村民が出ている記録もどこにも残ってない。みんなにね、そのせいで島に帰れない、島に家建てられない、島に住めないことになっていると言ったら、やっぱり騒ぎが起こると思う。それを君たちのミスで始めたことだから、訂正するチャンスをあげるから訂正してください、わかった？

○支 庁 都市計画も数年に一度、公聴会を開催したりですね、都市計画の見直しというところで意見書も提出いただけることになっています。

○参加者D 次いつ。

○支 庁 年数がすみません。数年に1回東京都の方で、伊豆諸島も含めて改定しており

ますので、その時に公聴会等も開かれ、意見書も出せますので、その時に提出いただけると大変ありがたいです。

○参加者D 腕まくりして待っています。

○参加者E 奥村地区に住んでいるものですが、この道を使う実態として、ご存知のことともたくさんあると思うんですけど、よく頻繁に使う使い方が朝の日の出を見に行く方がすごく多くて、朝の日の出時間帯に結構オートバイがたくさん登って行きます。今回は初日の出の時間には工事が始まってないと思いますので、特に問題はないと思いますけど、意外と日の出を見に行く人は元旦だけじゃなくて結構行くと思いますので、お知らせしておきます。

次に、3月ぐらいの時に1日程度車両の通行止めがあるというお話があって、いつというのは、工事の進み具合とかで周知していただけたらと思うんですけど、3月ぐらいって、結構村内のダンスとかイベントが結構あるんですよ。奥村交流センターで、中学生ぐらいまでの子どもがダンスの練習とかをされていて、奥村交流センターを利用される方って、先ほどの水道倉庫の横のところに栈橋かかりますよね。そこに自転車を止めて、みんな歩いて行くのです。

だからちょうどそういう時に利用がたくさん多くて、夜暗い時に、ここに自転車を停めてねとかがある。交通整理すればいいだけの話だと思いますが、そういう使い方があるよということを思っただけでいただければ良いかなと思います。

あと使い方としては、日頃、箕田理容店（夜明道路起点部の角）のところから曲がってくるところは意外と狭くて、朝の時間帯はその奥村職住とNTTさんの方から曲がってくるところは通学路になっていて、今でも、品川建設さんであったりとか、三徳建設さんとか、十分気をつけて車両は通行していただいていると思いますが、工事に伴う作業の方とかの車両もたくさん来ると思うので、車両がもし停まっていたりとかすると、思わぬところもあると思うので、警備の方もついたりすると思うので、十分注意していただければなと思います。

最後に、先ほど水道倉庫のところを活かしていただきまして、ちょうど水道倉庫の横のところはNTTさんとか奥村職住とか、もちろんドクターハウス近くは、ちょうどゴミステーションにもなっていて、先日もゴミステーションの前に車が駐停車していると、パッカー車がごみを回収しにくいとかって話があったので、村の関係部署と工事に伴ってその各箇所の動線を、気をつけていただければと思います。近隣に住んでいると、使い勝手がなんとなくわかる場所もあるので、ちょっとした情報ですが、よろしくお願ひします。

○支 庁 ありがとうございます。今の貴重なご意見承りましたので、今後工事に入っていく際には、十分気をつけていきます。

○参加者E 季節もの話ですけど。よろしくお願ひいたします。

○支 庁 ありがとうございます。ゴミ収集の話とか、自転車を止めるスペースは、村役場とも相談して進めてまいります。村役場の方でも決めていただかなければいけないと考えています。

閉会

○司 会 では本日はご参加いただきありがとうございました。閉会にあたりまして、小笠原支庁の土木課長藤木よりご挨拶申し上げたいと思います。

○支 庁 改めまして、土木課長の藤木です。本日は皆様、夜のお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございました。本日皆様から頂いた意見につきましては、今後良い形で反映できるように、行政一同で努めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、この旭橋の説明会で終わりというわけではございませんので、引き続き丁寧に、皆様に情報提供させていただきながら、道路整備と住宅等様々解決していきたいと思っておりますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。